



# 第87回「箱根駅伝大会」に向けて

秩父宮賜杯「全日本大学駅伝対校選手権大会」

「チーム日大」連勝ならず4位入賞



写真提供：陸上競技社

## 第42回大会の総括

**8区** ガンドゥ・ベンジャミン(国際関係学部2年生)  
区間賞 56分43秒 1位! 7人抜き

**1区** 田村 優宝君(文理学部1年生)  
区間4位 43分13秒 激走!!

**2区** 堂本 尚寛君(文理学部3年生)  
区間6位 38分23秒 健闘!!

**大健闘** **5区** 森谷 修平君(法学部1年生)  
区間5位 34分58秒  
君の潜在力は素晴らしい箱根期待の星!!

各エントリー選手の総括は次のページより記載しております。

# 106.8kmを走ってみて

写真提供：MEDIA BOX 社

## 1区 田村 優宝 14.6km (1年生 文理学部 青森山田高校)



初めての伊勢路を有望新人の期待に違わぬクレバーな走りで4位をキープ、前半を押さえ気味に走り、中盤以降自信に溢れた走りで次々に各校エースを追い抜き、4位の位置は立派。箱根駅伝での期待が持てる日大の新星である。

## 2区 堂本 尚寛 13.2km (3年生 文理学部 佐久長聖高校)



今年一番の練習量と10000m、での大学記録から見ると明治大学の鎧坂君のタイム37分38秒に近いタイムが出るかと期待したが、距離が短い為か記録としては、満足出来ないが、箱根2区か9区の有効候補選手として、更に上を目指して、チームを引っ張って欲しい。

## 3区 高月 雄人 9.5km (4年生 法学部 大牟田高校)



区間 12位 28分27秒  
4年として、最後の伊勢路を思い切りよく走った。この勢いを箱根に持ち込んで欲しい。しかし、箱根は最低距離でも18.5kmを50分台で走れるよう努力を積み重ねて欲しい選手である。最上級生としての根性を見せて下さい。

## 4区 和田 朋之 14.0km (4年生 法学部 愛知高校)



区間 15位 42分54秒  
副主将としての期待はあったが、5位から11位に順位を落とす。地元愛知県出身選手としての自覚を持ってもっと責任感溢れる走りを見せて欲しかった。

# 106.8kmを走ってみて

写真提供：MEDIA BOX 社

5区

森谷 修平 11.6km (1年生 法学部 東海大山形)



区間5位の走りで10位から8位に新人の森谷君が頑張った1年生の森谷 修平君 良く走った。次は箱根の4区を目指せ。練習に力を入れて田村優宝君と二人で1年生選手を引張って欲しい。

6区

寺田 裕成 12.3km (2年生 法学部 西京高校)



区間 10位 37分46秒

この位置にいる寺田君のポジションはチームの命運を分ける。“しっかり走れ” 35分台で走って欲しかった。8位から11位で襷を田倍君に繋ぐ寺田君・山下君・田倍君が走らないと「チーム日大」は厳しくなるから、もっと上を向いて練習に精を出して下さい!!

7区

田倍 憲人 11.9km (2年生 法学部 埼玉栄高校)



区間 10位 36分55秒

11位で襷を寺田君より引き継ぐが、走るフォームがバラついているので、合理的なフォームを追求し、常に精神的に前へ行く走りが必要で苦しい時は皆苦しい。練習から意識を変える姿勢が望まれる。

8区

ガンドゥ・ベンジャミン 19.7km (2年生 国際関係学部 ケニア・ガル高校)



区間 1位 区間賞獲得!

11位で田倍君より襷を引継ぐ走りは最高のコンディションで11位から7人を抜いて4位入賞・シード権獲得は「チーム日大」にとって吉報となった。これで8人の選手が1本の襷で繋がった。4位の位置は不満であるが、ディフェンディングチャンピオンのメンツは一応クリアーした。しかし、モグス君の持つ区間記録に1分10秒不足する事は反省材料となる。